

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公表番号】特表 2019-504388 (P2019-504388A)
 【公表日】平成 31 年 2 月 14 日 (2019.2.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-006
 【出願番号】特願 2018-527108 (P2018-527108)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/0354 (2013.01)

G 0 1 L 1/14 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 6 0 0

G 0 6 F 3/041 5 9 0

G 0 6 F 3/0354 4 5 3

G 0 1 L 1/14 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 3 年 3 月 23 日 (2021.3.23)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 7】

本発明の更に好ましい実施例によれば、前記負極端子及び正極端子及び圧力センサ手段は保護回路に電氣的に結合され、該保護回路は接続手段によって前記プロセッサユニット及び／又はスクリーンに接続され、電力及びデータが前記保護回路から前記プロセッサユニット及び／又はスクリーンへの前記接続手段によって伝送される。この実施例は、電力供給がスクリーンに加えられる圧力に依存して管理され得るので、非常に有利である。好ましくは、或る危険圧力値が予め規定され、データ記憶手段内に記憶され、前記プロセッサユニットは、前記判定した圧力値が前記危険圧力値の上である場合、安全処理、特に電力出力を減少すること、を行う。こうして、装置が破損されるような場合であっても、出火の危険性を減少するために、電力供給が停止され得る。好ましくは、前記危険圧力値は、いずれかの命令及び／又は各動作の処理ルーチンを選択するために必要な平均的圧力値の少なくとも 2 倍以上であり、前記プロセッサユニットによって実行可能な全ての各動作が圧力値によって選択可能であり、該各動作を選択するためのすべての圧力値が所定の圧力値範囲内である。こうして、安全のためにバッテリー内部において圧力センサを使用するが、そればかりではない。例えば、過充電、回路の短絡又は漏電の問題が生じたとき、前記圧力センサ手段がバッテリーを安全に保つ。同じ圧力センサ手段が異なる機能のために使用され得る。（通常動作の間に）スクリーン全体にわたって測定された圧力値とバッテリーが危険状態になったときの圧力値とは、かなり異なる。ハードウェアの閾値を設定することが可能であり、そこで、前記圧力センサ手段は、また、別の目的のために使用され得る。該圧力センサ及び圧力センサ手段は、ピエゾ電子的、磁歪的、静電容量的、電子機械的又は MEMS (micro electro mechanical systems: 微小電気機械システム) に基づくものであり得る。該圧力センサ及び圧力センサ手段は、好ましくは、アナログ出力を提供し得るものであり、MCU (マイクロコンピュータユニット) の ADC (アナログデジタル変換器) はアナログ値を読み取って変換し、若しくは、MCU に直接的に伝送される I2C のようなデジタル出力を提供し得る。